令和４年度事業報告

（全　　般）

Ⅰ．理事会、評議員会等の開催状況

１．理事会について

〇理事会（書面決議）
日時：令和４年５月１７日（火）
酒井理事及び西島評議員、服部評議員辞任に伴う後任理事、評議員選任のための理事会開催（案）

〇第１回通常理事会
日時：令和４年６月７日（火）　１５；００～
場所：雲仙岳災害記念館（セミナー室）

〇第２回通常理事会
日時：令和４年８月２９日（月）１５：００～
場所：雲仙岳災害記念館（セミナー室）

〇理事会（書面決議）
日時：令和４年１０月１３日（木）
髙田監事辞任に伴う後任監事選任のための理事会開催（案）

〇第３回通常理事会
日時：令和４年１２月１５日（木）１５：００～
場所：雲仙岳災害記念館（セミナー室）

〇第４回通常理事会
日時：令和５年３月１３日（月）１５：００～
場所：雲仙岳災害記念館（セミナー室）

２．評議員会について

〇評議員会（書面決議）
日時：令和４年６月２日（木）
酒井理事及び西島評議員、服部評議員辞任に伴う後任理事、評議員選任のための評議員会開催（案）

〇第１回評議員会
日時：令和４年６月３０日（木）　１５：００～
場所：雲仙岳災害記念館（セミナー室）

〇評議員会（書面決議）
日時：令和４年９月２６日（月）
内山評議員辞任に伴う後任評議員選任のための評議員会開催（案）

〇評議員会（書面決議）
日時：令和４年１１月８日（火）
髙田監事辞任に伴う後任監事選任のための理事会開催（案）

〇第２回評議員会（書面決議）
日時：令和５年３月３１日（金）
令和５年度公益目的事業資産の一部取崩（案）について

令和４年度事業報告

（一般会計）

Ⅰ．助成事業

がまだすドーム防災教育推進助成事業

（単位：円、人）

	当初予算額	補正予算額	決算額	残　額	申請件数	利用者数
令和４年度	2, 750, 000	2, 750, 000	1, 919, 380	830, 620	86	3, 757
令和３年度	2, 750, 000	5, 150, 000	4, 430, 790	719, 210	167	8, 673
対前年増減額	0	△2, 400, 000	△2, 511, 410	―	△81	△4, 916
対 前 年 比	0%	53. 4%	43. 3%	―	51. 5%	43. 3%

予算執行率　６９．８０％

令和４年度申請件数の内訳（８６件）

・島原半島地域　２７件（島原市１２件　南島原市　５件　雲仙市１０件）

・県北地域　３５件（佐世保市２１件　大瀬戸　５件　平戸市　１件

松浦市　１件　波佐見町　３件　川棚町　３件

佐々町　１件）

・長崎地域　１８件（長崎市１７件　長与町　１件）

・県央地域　　４件（諫早市　２件　大村市　２件）

・離島地域　　２件（新上五島　２件）

令和３年度内訳（１６７件）

・島原半島地域　２５件（島原市１２件　南島原市　５件　雲仙市８件）

・半島外　　１４２件（県北地域６２件　長崎地域４９件　県央地域１９件

離島地域１２件

Ⅱ．記念館の運営支援（特別会計への繰入）

（単位：千円）

	当初予算額	執行額	残　　額
令和４年度	４５，０００	４５，０００	０
令和３年度	６４，０００	６４，０００	０
対前年増減額	▲１９，０００	▲１９，０００	―

令和４年度事業報告（特別会計）

Ⅰ．記念館入館者数等（公益目的事業）について

１．入場者数と入館料収入　（単位：人、千円、%）

	R4 計画	R4 実績	計画との比較		R3 実績	R1 実績	H30 実績
			増減	達成率			
入館者数（総数）	138,980	97,516	▲41,464	70.2	75,200	203,156	254,324
入館者数（有料）	123,000 (A)	86,737 (B)	▲36,263	70.5	65,154	169,467 (C)	216,499 (D)
入館者数（無料）	15,980	10,779	▲5,201	67.5	10,117	33,689	37,825
入館料収入	65,073	50,183	▲14,890	77.1	38,035	77,641	96,653

① 当初計画との比較（有料入館者）
（Ａ）１２３，０００人－（Ｂ）８６，７３７人＝▲３６，２６３人
② R1 年度との比較（有料入館者）
（Ｃ）１６９，４６７人－（Ｂ）８６，７３７人＝▲８２，７３０人
③ Ｈ３０年度（リニューアル年度）との比較（有料入館者）
（Ｄ）２１６，４９９人－（Ｂ）８６，７３７人＝▲１２９，７６２人

令和４年度の有料入館者数は、新型コロナウイルス感染再拡大の影響により上半期の利用が伸び悩み（上半期実績は計画比６０．０%）、下半期に緩やかな回復傾向を見せたものの（下半期実績は計画比８２．４%）、トータルで計画比７０．５%、コロナ禍前のＲ１年比では５１．２%、リニューアル年のＨ３０年比では４０．１%にとどまった。
令和３年度からの伸長率は１３３．１%。

２．有料入館者の内訳　（単位：人、%）

	R4 計画	R4 実績	計画との比較		R3 実績	R1 実績	H30 実績
			増減	達成率			
常設展示	70,000	53,067	▲16,933	75.8	43,198	93,515	116,646
こどもジオ	51,000	32,097	▲18,903	62.9	19,619	71,038	93,809
ラボ	2,000	1,573	▲427	78.7	2,337	4,914	6,044

３．常設展示の内訳
（１）個人客　（単位：人、%）

	R4 計画	R4 実績	計画との比較		R3 実績	R1 実績	H30 実績
			増減	達成率			
個人客数	44,500	29,060	▲15,440	65.3	20,858	61,851	77,617

○個人客は２９，０６０人で、前年度実績比１３９．３%まで回復したものの、計画比では６５．３%にとどまった。
○コロナ感染第７波の影響などにより、ＧＷ後から夏休みにかけて利用が伸び悩み、上半

期は計画比５９．１％にとどまった。
○１０月の「全国旅行支援」開始後も、コロナ第８波の影響を受けて苦戦が続き、第３四半期も計画比５９．６％と横ばい状態が続いた。
○コロナ第８波が収束へ向かい始めた２月より、土日祝日を中心に徐々に利用が増えはじめ、第４四半期に関しては計画比９２．１％まで回復を見せた。

（２）団体客　（単位：人、％）

	R4 計画	R4 実績	計画との比較		R3 実績	R1 実績	H30 実績
			増減	達成率			
一般団体	2,500	2,242	▲258	89.7	999	7,405	10,985
修学旅行	19,000	19,852	852	104.5	20,050	19,128	20,264
県内学生	3,800	1,674	▲2,126	44.1	1,249	2,969	4,956
外国人客	200	239	39	119.5	42	2,162	2,824
団体客計	25,500	24,007	▲1,493	94.1	22,340	31,664	39,029

○団体客は２４，００７人で、計画未達ながらも、計画比９４．１％まで伸ばすことができた。第３四半期に関しては、修学旅行の利用が好調で計画を大きく上回った（計画比１２７．３％）。
○客層別では、修学旅行と外国人客が計画を上回った（修学旅行は計画比１０４．５％、外国人客は１１９．５％）。
○修学旅行は、県内修旅が前年度の１５４校９，２８１人から５２校２，７５０人へ大幅に減少したものの、大分県の小中学校をはじめ、関東・東海の高校などが増加し、計画を８５２人上回った。
○外国人客は１２月より利用が伸びはじめ、１２～３月で計画比３２８．３％増となった。
○一般団体は、コロナ第６波の影響を受けて第１四半期が苦戦（計画比５４．７％）、第２四半期以降は県民割や全国旅行支援を活用した研修旅行が増えて計画比９９．５％まで戻したものの、第１四半期分のマイナスをカバーすることはできなかった。
○県内学生は、夏休みにおける子供会・学童クラブの利用が低調で、計画を大きく下回った（計画比４４．１％）。その中で、半島内学校の利用はコロナ禍前のＲ１年度の３０校９８６人から３５校１，０６１人へと増加した。

４．こどもジオパーク（再掲）　（単位：人、％）

	R4 計画	R4 実績	計画との比較		R3 実績	R1 実績	H30 実績
			増減	達成率			
こどもジオ	51,000	32,097	▲18,903	62.9	19,619	71,038	93,809

○こどもジオは３２，０９７人で、前年度比１６３．６％まで回復したものの、計画比では６２．９％にとどまった。
○コロナ感染第７波の影響などにより、GW後から夏休みにかけて利用が伸び悩み、上半期で計画比５５．０％と苦戦。下半期はコロナ第８波が落ち着きはじめた１月以降利用が増加し、計画比７３．６％まで回復を見せた。
○保育園や子供会・学童クラブなどの団体利用も４９件８３７人と伸び悩んだ。とりわけ、夏休みの利用が２０件３６８人と苦戦した。

Ⅱ．営業・広報活動について

１　営業活動

【個人客への取組・結果】

ア）入館者を増やすための取組

「全国旅行支援」の地域共通クーポンへの参画、半島内の主要観光施設や長崎駅･大村空港･諫早駅周辺のレンタカー会社等への割引券設置

⇒地域共通クーポン1，347，850円、割引券利用実績989人

イ）西九州新幹線開業記念企画展「島原鉄道の軌跡展」の開催（１０～１１月）

⇒企画展来場者４，３３０人、同時開催の工作ワークショップ参加者２１１人

ウ）島観連と連携して、常設展示と組み合わせた個人向け定点ツアーを実施

⇒催行実績６本４８人

エ）開館２０周年記念イベント＆Ｖ・ファーレン長崎との連携事業

⇒７月９日に「ヴィヴィくん１日館長」を実施、５月２９日に「南島原市サンクスマッチ」にてＶ・ファーレン長崎と共同イベントを実施（ＮＩＢ「ＡＬＬ！Ｖ・ファーレン」で紹介）

オ）工作ワークショップの実施とＰＲ

⇒８０４，９５０円の売上実績（計画６００，０００円）

【団体客への取組・結果】

ア）福岡市、北九州市、大分市、中津市、宮崎市、延岡市、鹿児島市、熊本市、天草市、山口市、下関市、長崎市、佐世保市の教育旅行を扱う旅行社を営業訪問（３４社）

⇒訪問した旅行社より８５校６，８８８人の利用

イ）福岡市、北九州市、大分市、宮崎市、鹿児島市、熊本市、天草市、山口市、下関市、佐世保市、長崎市の一般団体向け旅行社を営業訪問（４５社）

⇒訪問した旅行社より７件３０４人の利用

※３月に２社より１２本２８５人予定していたツアーは催行中止となった。

ウ）熊本市、玉名市、荒尾市、天草市、大牟田市、鹿島市、武雄市、太良町、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、長与町、時津町の民児協や看護学校などを営業訪問（１４市町）

⇒７件１３１人利用

エ）災害復興フィールドワークを自治体・各種団体へ案内

⇒フィールドワーク実績６件８５人

オ）長崎市、諫早市、西海市、雲仙市、南島原市の校長会に参加し、助成金を活用した記念館利用を案内

⇒上記５市より２７校８７３人利用（修学旅行での利用は除く）

カ）長崎県内の子供会・学童クラブ・放課後デイへ夏休み向けＤＭを送付

⇒１９件２５１人利用

キ）修学旅行アンケートの実施

⇒令和４年度に利用のあった２６３校に礼状とアンケートを送付。３月にレポートにまとめて関係各所へ配布。島観連の誘致部会でも報告を行った

ク）福岡市・長崎市のインバウンド向け旅行社と県観連海外誘致課を営業訪問（９社）

⇒福岡市の２社より２件５４人利用、長崎市の１社が記念館をコースに含む台湾教育旅

行関係者のモニターツアーを造成（７名）、県観連が韓国の旅行関係者のモニターツアーを造成（１０名）

≪課題と今後の取組≫

【個人客】

ア）半島内の宿泊旅行客の取り込みが弱い

⇒従来の宿泊施設への割引券配布に加えて、宿泊施設のスタッフ向けに無料の研修案内と招待券配布を行い、宿泊施設からの送客増につなげる。併せて、みかどホテルや主要宿泊施設と連携して個人客向けの企画プランを造成する

イ）半島内の住民（小学生以外）の利用が少ない

⇒6～7月にかけて半島3市民に半額割引キャンペーンを実施するとともに、常設展示見学と組み合わせたワンコインの定点ツアーを実施

ウ）島原半島の旅行客における「レジャー・体験」への満足度の低さ

⇒屋外エリアを活用したワンコインガイド、導流堤周辺をめぐるミニウォーク、楽しく学べる防災・減災イベントなどを実施

エ）工作ワークショップの活用と横展開

⇒子供たちに人気の工作ワークショップを活用して、子育て支援センターや母子会、公民館等と連携した活動を展開。さらに、防災ゲームなどと組み合わせた横展開も検討する

オ）サイクルツーリズム関連イベントへの参画

⇒島原半島観光連盟が実施するサイクルツーリズムのイベントに積極的に参画し、そこからの集客を図る

【団体客】

ア）修学旅行に関して、関東・中部・関西エリアへの営業訪問ができていない

⇒コロナ禍で訪問活動ができずにいた関東・中部・関西エリアへの誘致活動を県観連や島観連などとともに行う。併せて、記念館の修学旅行における重点エリアである大分、福岡、沖縄への訪問活動も継続して行う

イ）大幅に減少した県内修旅に対する対策の必要性

⇒今年度も継続利用の可能性がある県北エリアに重点を置いて、旅行社訪問、校長会参加、学校へのDM送付などを行う

ウ）夏休みに利用が伸び悩んだ学童クラブ・子供会・放課後デイへの対策の必要性

⇒夏休みの学童向け体験メニューの見直しを行い、夏休みの自由研究にも利用可能なプログラムを作成してPRを行う

エ）一般団体の募集型ツアーに向けた取組の必要性

⇒これまで研修旅行を行う団体・旅行社回りを中心に営業活動を行ってきたが、今後は徐々に募集型ツアーの増加も見込まれることから、島原鉄道や雲仙ロープウェイと連携して、カフェトレインやロープウェイと組み合わせた企画料金の案内を行う

オ）一般団体の増加のためには各種団体のさらなる積み上げが必要

⇒民児協や消防団などは訪問エリアをこれまでの県内・近県から大分・鹿児島・山口へと拡大。障害者施設と老人会については県内を中心に営業活動を展開。自治体については防災関係の部署を中心に誘客実施

カ）インバウンド対策

引き続きインバウンド旅行社訪問を行うとともに、九州観光推進機構や県観連に旅行社やインフルエンサーのモニターツアー実施を依頼する。併せて、県内および近県の

大学に向けて留学生ツアーの営業活動を実施。個人の外国人に向けては、半島内の主要宿泊施設に外国語パンフレットを設置する

２　広報活動

【取組・結果】

〇無料で掲載できる媒体を探し積極的に掲載した。⇒約 30 件 例）とっとって motto・ながさきプレス・じゃらん・アソビュー・デジタルスタンプラリー・NBC ラジオ・るるぶ等

〇広告を出すことで年間を通して広報できる媒体を選択した⇒2 件 九州パパママ Walker・ハイウェイプラス・るるぶこどもとあそぼ九州等

〇いのりの灯に関して取材対応について、テレビ局⇒約５件　新聞社⇒６件

〇例年行っていた高校生の演奏がコロナ渦で開催できなくなり、昨年から撮影し当日館内で上映している。昨年はかぼちゃテレビへ依頼し撮影・編集を行う。今年度は経費縮減のもと広報で撮影と編集を行った。

〇西日本新幹線開業に合わせた島原駅でのイベントや島原商工会議所が行うまちづくり運動などにも積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った

〇佐賀・長崎デスティネーションキャンペーンに関する媒体に掲載した。
⇒別冊旅の手帳・デジタルスタンプラリー・西九州新幹線に関するチラシ、ポスター、のぼりの館内設置

〇NHK 総合で放映される「明日をまもるナビ」へ火山模型などを貸し出しており、記念館で体験できる事を番組内で紹介してもらえるよう現在進めている。

〇福岡の広告代理店に依頼し、商業施設で火山実験のイベントを開催した。

〇チケット販路の拡大を目的に、おでかけサイト「アソビュー」へ掲載。チケットの買い取り対応と店頭でのデジタル処理による会計を導入した。

〇年間を通して野外を活用するイベント「ジオジオネイチャー」を開催。⇒年間３回

〇こどもジオパークの平日活用を目的としたプランを作成し利用促進を行った
⇒予約３園　その内利用２園　約 100 名の園児・保育士が利用。

〇年間を通し、教育・防災に関する施設や教材、テレビ局への画像・情報・実験道具の貸し出しを行った。⇒10 件

〇島原半島ユネスコ世界ジオパークの再認定時には、拠点施設として島原半島ジオパーク協議会・島原半島観光連盟との活動をアピールした。

〇島原半島ユネスコ世界ジオパーク高校生発表大会へ審査委員として参加。

【課題と今後の取り組み】

〇引き続き年間を通して掲載できる広告や費用対効果がいい広告を探し、アフターコロナを見据えて有料でも効果的な広告には限定的でも費用をかけていく。

〇こどもジオパークについて、平日の利用を増やしていけるよう引き続き促進活動を行う

〇他団体と共同で、主要交通網等の広告を追加検討する。

〇常設展示の魅力向上について、解説の QR コード活用等、来館者の満足度向上に努める。

〇こどもジオパークを使った新たなイベントを企画・実施し、周知・集客に努める。
企画には、民間企業と連動したものを導入予定。

Ⅲ．企画展・催事（イベント）について

１．企画展示

（単位：人、%）

計画（A）	実績（B）	計画との比較		R3 実績（C）	R2 実績	R1 実績（D）	H30 実績（E）
		増減	達成率				
21,000	18,543	▲2,457	88.3%	14,243	23,034	35,014	31,626
16,500	26,414	9,914	160.1%	17,454	5,098	－	－

※表の上段が記念館での企画展の計画対実績。下段が企画展の外部開催見込みと実績。

① 計画との比較
（Ｂ）１８，５４３人－（Ａ）２１，０００人＝▲２，４５７人

② Ｒ３年度との比較
（Ｂ）１８，５４３人－（Ｃ）１４，２４３人＝４，３００人

③ Ｒ１年度との比較
（Ｂ）１８，５４３人－（Ｄ）３５，０１４人＝▲１６，４７１人

④ Ｈ３０年度との比較
（Ｂ）１８，５４３人－（Ｅ）３１，６２６人＝▲１３，０８３人

【取組・結果】

ア）当初計画に対し、本館事業は 88.3%と未達。企画展の外部開催実績は当初計画を大きく上回る。合算での当初計画対比は、101.0%。記念館本体の前年対比は１３０．２%。

イ）島原半島のデザイン活動を通して地域の活性化を図るクリエーターの方々やひょうたんランプ工芸作品の普及を図る地元団体、日本各地のおひなさまを収集する地元愛好家など共同で実施する企画展を開催した。

ウ）島原半島の石ころの見方から成り立ちを学ぶ「親子で学ぶ石ころの不思議展」を開催。マグマの化学分析や年代測定から得られた研究成果を初公開し、島原半島の誕生の場所・年代を特定することに成功し、記念館の教育普及の機会になった。

【課題　次期計画に向けて】

ア）災害３０年・開館２０年に日本各地を巡回した企画展「1991 雲仙普賢岳噴火災害を振り返る」を当館にて開催する予定　5/13～6/25

【企画展実績】

（単位：人）

	企画展名	計画	参加者数	実施月
1	巡回展「かるたでよみとく　わたしと世界のつながり」	2,000	1,020	4～5 月
2	全国がまだすドーム巡回展「1991 雲仙普賢岳噴火災害を振り返る」（全国４会場）	16,000（外部開催）	25,821（外部開催）	4～12 月
3	がまだすドーム巡回展「火山が作った済州島の自然と地質写真展 IN 平成新山ネイチャーセンター」	500（外部開催）	593（外部開催）	4～5 月
4	写真で振り返るがまだすドームの２０年	2,000	1,254	5～7 月
5	巡回展「気象災害大国日本展」	3,000	1,983	7～8 月

6	巡回展「海と生きものとわたしたち～３．１１からの復興をめざして～」	2,000	1,050	8～9 月
7	西九州新幹線開業記念「島原半島の軌跡展」	3,000	4,330	10～11 月
8	平成新山絵画展	2,000	1,842	11～12 月
9	島原半島デザイン展	2,000	1,130	1～2 月
10	おひなさま展	1,000	3,422	2～3 月
11	親子で学ぶ石ころの不思議展	3,000	2,200	3 月
12	ひょうたんランプ＆工芸ひょうたん展	1,000	312	3 月
	合計	44,500	44,957	

２．催事（イベント）

（単位：人）

計画(A)	実績(B)	計画との比較		R3 実績(C)	R2 実績	R1 実績(D)	H30 実績(E)
		増減	達成率				
4,100	2,978	▲1,122	72.6%	3,599	2,768	7,508	10,265

※催事実績詳細は参考資料③を参照

① 計画との比較
（Ｂ）２，９７８人－（Ａ）４，１００人＝▲１，１２２人

② Ｒ３年度との比較
（Ｂ）２，９７８人－（Ｃ）３，５９９人＝▲６２１人

③ Ｒ１年度との比較
（Ｂ）２，９７８人－（Ｄ）７，５０８人＝▲４，５３０人

④ Ｈ３０年度との比較
（Ｂ）２，９７８人－（Ｅ）１０，２６５人＝▲７，２８７人

【取組・結果】

ア）当初計画に対し、72.6%と未達。

イ）全国の活火山やジオパークを学ぶオンライン講座「全国の火山を知ろう」の第三回で富士山の学習講座を開催。日本各地のジオパーク関係者らが参加し、火山への備えを学び防災意識の向上を図る機会になった。

ウ）岩手県釜石にある「いのちをつなぐ未来館」と連携して、若い語り部から震災で起こった出来事を聞き、命を守るために備えておくべきことなどを話し合う「東日本大震災を学ぶ」を開催。親子で防災を学ぶ機会になった。

【課題　次期計画に向けて】

ア）噴火災害の伝承追悼行事として「いのりの灯」を継続して開催する。

イ）火山や防災に関心を持つ親子を対象に「こども火山ガイドになろう」を開催予定。

Ⅳ．ショップ，カフェについて

【ショップ実績】

１．売上実績　（単位：千円、％）

当初計画(A)	R4実績(B)	計画との比較		R３実績	R１実績(C)
		増減	達成率		
4,000	2,847	▲1,153	71.2%	1,290	7,813

①　当初計画との比較
　（Ｂ）２，８４７千円－（Ａ）４，０００千円＝▲１，１５３千円
②　Ｒ１年度との比較
　（Ｂ）２，８４７千円－（Ｃ）７，８１３千円＝▲４，９６６千円

２．利用者数　（単位：人，％）

当初計画(A)	実績(B)	計画との比較		R３実績	R１実績(C)
		増減	達成率		
4,000	3,185	▲815	79.6%	2,241	6,123

○令和３年度実績に対して売上伸長率は 220.7%、客数伸長率は 142.1%。

【カフェ実績】

１．売上実績　（単位：千円、％）

当初計画(A)	実績(B)	補正後計画との比較		R３実績	R１実績(C)
		増減	達成率		
6,000	6,059	59	100.1%	3,650	14,316

①　当初計画との比較
　（Ｂ）６，０５９千円－（Ａ）６，０００千円＝５９千円
②　Ｒ１年度との比較
　（Ｂ）６，０５９千円－（Ｃ）１４，３１６千円＝▲８，２５７千円

２．利用者数　（単位：人、％）

当初計画(A)	実績(B)	補正後計画との比較		R３実績	R１実績(C)
		増減	達成率		
6,000	5,480	▲520	91.3%	3,820	12,878

○令和３年度実績に対して売上伸長率は１６６．０％、客数伸長率は１４３．５％。

Ⅴ．新型コロナウイルス感染症関連の取組

１．令和４年度の主な対応

ア）来館者への検温・消毒を実施するとともに、マスク着用を徹底。

イ）常設展示やこどもジオパークについては、ポンプ式消毒液を常設し、来館者の密状態防止のための職員巡回や、定期的な消毒・清掃活動を実施。

ウ）更に、こどもジオパークについては、土日祝日を対象に利用時間の設定と利用人数の制限をおこない感染防止対策を強化。（９月まで）

２．令和４年度の助成金の申請・受領

・事業復活支援金

➢ ４月　　１，５００，０００円（R4.４月受領）

・雇用調整助成金

➢ ４月　　１，０３９，７２０円（R4.６月受領）
➢ ５月　　６７８，２５２円（R4.７月受領）
➢ ６月　　７２５，０２８円（R4.８月受領）
➢ ７月　　７４０，６２０円（R4.９月受領）
➢ ８月　　４５２，１６８円（R4.１０月受領）
➢ ９月　　１，０２９，０７２円（R4.１１月受領）
➢ １０月　　９０４，３３６円（R5.１月受領）
➢ １１月　　９１２，１３２円（R5.１月受領）
➢ １２月　　８４４，６１０円（R5.２月受領）
➢ １月　　９０９，５８０円（R5.３月受領）
➢ ２月　　８４４，６１０円（R5.５月受領）
➢ ３月　　９０９，５８０円（R5.５月受領）

〇雇用調整助成金（令和４年度総額）　９，９８９，７０８円受領

参考：令和３年度実績額　９，４０２，５２４円

〇長崎県より支援金

➢ エネルギー価格高騰による光熱費支援金　５，３００，０００円（R5.３月受領）

◎助成・支援・補助金総額：１６，７８９，７０８円

【参考資料①　広報実績一覧】

1. 雑誌等　　（単位：千円）

九州パパママ Walker 2022	九州の書店コンビニで販売される雑誌で年間を通してアピールできる	275
東京都総務局総合防災部へ画像提供	東京都が作成している火山防災マップにて使用する火砕流の画像を提供	無料
長崎新聞「とっとってｍｏｔｔｏ！」へ掲載	長崎新聞「とっとってｍｏｔｔｏ！」へいのりの灯の情報と GEO CAFÉ の画像と情報を提供	無料
ながさきプレス６月号へ掲載	ながさきプレス６月号 EVENTS GUIDE にいのりの灯を掲載	無料
ながさきプレス７月号へ掲載	長崎の情報が掲載される雑誌に記念館と GEO CAFÉ を掲載	150
長崎新聞「とっとってｍｏｔｔｏ！」へ掲載	企画展、写真で振り返るがまだすドームの 20 年を掲載	無料
ハイウェイプラスへ掲載	九州内の高速道路・道の駅などで配布される冊子へ掲載	20
長崎新聞「とっとってｍｏｔｔｏ！」へ掲載	夏レジャー特集のコーナーへ掲載	無料
交通新聞社「別冊旅の手帖」へ掲載	「佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン」に関する観光本へ掲載	無料
じゃらん news へ掲載	じゃらんサイト内のじゃらん news にて８月に掲載する記事の提供	無料
映像制作会社のアテネへ映像の提供	光村図書出版株式会社が発行する令和６年度版５年生の小学校国語教科書内 QR コードで使用する映像を提供	無料
FM 長崎が発行する防災ハンドブックへ掲載	災害時に役立つ知識を普及させるための冊子へ掲載	11
おでかけサイト「アソビュー」へ掲載・チケットの買取	株式会社アソビューが運営するおでかけサイトへ掲載、また、300 枚のチケットを買い取ってもらい販売中	無料
富士河口湖町 地域防災課へ画像提供	富士山が噴火した際の避難計画要項で使用する画像の提供	無料
ユネスコ世界ジパークの世界審査への協力	ユネスコ世界ジパークの世界審査が行われた際、ジオパーク・記念館・島原半島観光連盟との協力体制を審査委員へアピール	無料
ジパング倶楽部の取材対応	JR の旅行会員誌である冊子内の西九州新幹線、島原半島めぐりのコーナーへ掲載	無料
るるぶ長崎へ掲載	冊子内の県内施設案内コーナーへ画像と文章の掲載	無料
長崎新聞「とっとってｍｏｔｔｏ！」へ掲載	９月 18 日号へミュージアムフェスタを掲載	無料
島原半島版「わお！マップ」へ掲載	高速道路パーキングや道の駅に設置される島原半島の地図わおマップへ掲載	11
佐賀・長崎を巡るデジタルスタンプラリーへ参画	佐賀・長崎デスティネーションキャンペーンの大型観光キャンペーンへの参画	無料
大島病院 広報誌へ掲載	佐賀県にある大島病院の広報誌から取材依頼があり 12 月号へ掲載された	無料
福岡市のフォレオ博多にてイベント	福岡の広告代理店と共催イベント、火山実験を行い 268 名の参加があった	無料
るるぶドライブ九州ベストコース 24 へ掲載	冊子内の県内施設案内コーナーへ画像と文章の掲載	無料
るるぶドライブ九州ベストコース 24 へ掲載	年間を通して流通する冊子内の企画ページ 1/3 に掲載	22

全国の中学生を対象とした「学生防災ガイド」へ画像の提供	全国の中学生1～3年が使用する学校教材への画像提供	無料
長崎新聞「とっとってmotto」の取材・掲載	長崎新聞のとっとってmottoのこどもジオパークへの取材対応、12月に掲載	無料
ながさきプレスが発行するワーケーションガイドブックへ掲載	ワーケーションガイドブックへ掲載、発行済	無料
るるぶこどもとあそぼ九州へ掲載	冊子内の県内施設案内コーナーへ画像と文章の掲載	無料
SUNQパスガイドブックへ校正・掲載	2023年のSUNQパスガイドブックへ掲載	無料
掲載大和市の災害の歴史」の展示に使用する画像の提供	令和４年度つる舞の里歴史資料館企画展で使用する画像の提供	無料
久野印刷が作成する冊子への画像と 原稿の提供と取材対応	ふくおかフィナンシャルグループが発行する 調査月報の表紙と目次に使う 画像の提供と取材対応	無料
じゃらんnewsへ掲載	じゃらんサイト内のじゃらんnewsにて雨の日特集に掲載する記事の提供	無料
るるぶこどもとあそぼ'24へ掲載	年間を通して流通する冊子内の1ページに掲載	12
ながさきプレスへジオカフェメニューを掲載	ながさきプレス内のプレスニュース枠にジオカフェの新メニューを掲載	無料
昭文社ガイドブックまっぷるマガジン長崎へ掲載	まっぷるマガジン長崎内の施設情報欄に施設の掲載	無料
東京都 総務局 総合防災部へ画像の提供	火山防災の普及啓発を目的として作成される火山防災のしおりに使用される画像の提供	無料
結婚情報サイトまりおねっとへ掲載	新たな顧客へのアプローチの一つとして結婚情報サイトへ画像と情報の提供	無料
長崎新聞「とっとってｍｏｔｔｏ！」へ掲載	3月24日号へひょうたんランプ展を掲載	無料
福利厚生サービスサイトクラリスへ掲載	企業の従業員様や提携サービスの会員様が利用できる福利厚生サービスへ掲載	無料
KADOKAWA の情報サイトウォーカープラスへ掲載	全国のおでかけスポットやイベント情報を扱う情報サイトへ掲載	無料

2.【自主事業】

NBCラジオ出演	ふるさと特配員としてラジオコーナー中に電話中継にて出演	無料
「がまだすドームnews4月5月6月」チラシ作成	イベント情報などを掲載した館独自のチラシの作成	10 45,000部
「がまだすドームnews7月8月」チラシ作成	イベント情報などを掲載した館独自のチラシの作成	10 45,000部
「がまだすドームnews10月11月」チラシ作成	イベント情報などを掲載した館独自のチラシの作成	10 40,000部
いのりの灯に関する取材対応	NBCによる館長・定点の取材調整	無料
火山ジュニアマイスタースクールのチラシ作成	年間を通して火山や防災を学ぶ講座のチラシ作成	7 3,000部
NBCラジオ出演	フロアスタッフの長門がいのりの灯に合わせた番組にラジオ出演、その調整	無料
NBCTV	6/3放映に合わせて5月末に取材があった。調整・対応	無料
6/3 NIB news every.の中継	いのりの灯当日に館内より生中継の対応	無料

長崎大学の学生へ画像・情報の提供	学生がレポートに使用する画像や情報の提供	無料
ながさき県民大学講座「全国の火山を知ろう」チラシの作成	今年度開催される県民大学講座の作成	4 1,500 部
島原花と緑のまちづくり運動へ参加	島原商工会議所が主催するまちづくり運動へ参加	無料
西九州新幹線開業に伴うイベントへ参加	島原駅で開催された「みんなで手を振ろうおもてなし大作戦！」へ参加	無料
NHK の番組「明日をまもるナビ」へ画像・実験道具の提供	NHK 総合で放映される番組、親子で楽しみながら学べる防災施設として特集	無料
がまだすドーム de ジオジオネイチャーの開催	がまだすドームの屋外を使い、6 月にネイチャーゲームを開催	無料
がまだすドーム de ジオジオネイチャーの開催	がまだすドームの屋外を使い、8 月にネイチャーゲームを開催	無料
いのりの灯当日に流す動画の作成	島高、島商、島農の吹奏楽部を撮影、編集し館内にて上映	無料
無人化施工現場見学会への参画	株式会社吉川組と国土交通省が開催した無人化施工現場見学会にて記念館として参画	無料
「がまだすドーム news1 月 2 月 3 月」チラシ作成	イベント情報などを掲載した館独自のチラシの作成	10 40,000 部
ゆざわジオパークのジオガイド研修講座へ参加	島原半島ジパーク事務局とジオガイドと共にゆざわジオパークのオンライン研修講座へ講師として参加	無料
島原市内の幼稚園保育園に向けたこどもジオパークチラシの作成	平日にこどもジオパークをお得に利用できるプランを作成しチラシに落とし込み配布	1
がまだすドーム de ジオジオネイチャーの開催	がまだすドームの屋外を使い、3 月にネイチャーゲームを開催	無料
公益財団法人日本環境協会の HP へイベント掲載	3 月に開催されるジオジオネイチャーのイベントを日本環境協会の HP へ掲載	無料
NTT ビジネスソリューションズと web ミーティング	インバウンドに力を入れている NTT ビジネスソリューションズとミーティング	無料
夏休み学童こども会向けのチラシ作成	夏休みに防災教育助成金を使用した団体向けのチラシを作成	無料
島原半島ユネスコ世界ジオパーク高校生発表大会に審査委員として参加	島原半島ユネスコ世界ジオパーク高校生発表大会に審査委員として参加し意見交換した	無料

【参考資料②】　記念館（特別会計）の事業活動支出額推移

（単位：千円、人）

	H28	H29	H30 （リニューアル）	H31 （R1）	R2	R3	R4
事業活動支出	135,730	138,444	174,522	161,650	148,446	118,495	113,269
人件費（概算）	50,189	46,369	65,128	68,035	69,534	63,589	59,333
人員数	22	18	23	24	24	24	23

※収支計算書より抜粋。投資活動支出を含まず。（リニューアル経費を含むため）

※Ｈ３０～Ｒ２の人件費は、館長の出向費用（負担金計上）を含む。

※退職金支払いに係る、退職金戻入収入及び退職金支払支出（同額）は除く。

◎H28、H29 に対して約２０，０００千円、R2 に対して約３５，０００千円の支出縮減。

【参考資料③　催事イベント実績一覧】

（単位：人）

	主なイベント	計画	参加者数	売上額	実施月
1	オリジナル宝物ＢＯＸ	30	13	13,000	4月、5月
2	ハーバリウムイヤリング	30	57	114,000	5月
3	三葉虫レプリカ作り	20	32	32,000	6月
4	マーブリングライトを作ろう	－	24	24,000	5月
5	火山の専門家と普賢岳を登ろう	30	24	24,000	7月
6	夏休みアートスクール	20	24	24,000	8月
7	サンキャッチャーを作ろう	60	41	41,000	7月、8月
8	こどもＶＲ体験会	20	8	1,600	7月
9	ミュージアムフェスタ	30	12	12,000	7月
10	マーブリングライトを作ろう	－	28	28,000	8月、9月
11	ガラスドームイヤリング	－	27	54,000	10月
12	秋の普賢岳登山	30	33	33,000	10月
13	ぼうさいキャンプ	30	29	58,000	11月
14	Xmas オーナメント	30	14	14,000	11月
15	マーブリングライトを作ろう	－	14	14,000	11月
16	お正月凧作り	30	7	3,500	12月
17	江戸時代に起きた島原大変を巡る	30	15	5,700	12月
18	化石レプリカを作ろう	－	21	21,000	1月
19	石の標本箱を作ろう	30	38	38,000	3月
20	オリジナルイヤリングを作ろう	30	42	84,000	3月
21	冬＆春の星空観察会	20	4	2,000	3月

実験

1	火山ジュニアマイスタースクール	40	24	12,000	6月、10月、3月
2	光るスライム時計	20	55	27,500	5月、6月
3	光るスライムを作ろう	－	93	46,500	4～6月
4	火山噴火実験	80	36	18,000	7～3月
5	石の標本づくり	10	8	4,000	2月
6	導流堤ウォーク	10	7	3,500	2月

ワークショップ

1	スライム作り	660	291	58,200	4～3月

団体プログラム

1	火山噴火実験	440	236	88,500	6月、10～12月
2	ストーンハンティング他	200	260	121,300	7～9月

出前教室

1	マーブリングライトを作ろう 他	40	49	34,500	8月
2	溶岩ドーム実験	30	7	3,500	11月

公益事業

1	いのりの灯	2,000	1,251	無料	6月
2	全国の火山を知ろう第1・2・3回	90	147	無料	7月、9月、1月
3	キャンプ砂防　火山岩標本作り	－	7	無料	8月
4	教員のための博物館の日	10	－	中止	11月
R4 年度合計		4,100	2,978	1,058,300	
前年度		7,680	3,599	1,442,900	

※公益事業4は、学校での新型コロナの感染状況をふまえ中止した

貸借対照表（総括表）

令和5年3月31日現在

総括表（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	1,679,018	1,654,847	24,171
普通預金	29,776,564	40,798,125	△ 11,021,561
前払金	520,264	672,631	△ 152,367
立替金	0	0	0
仮払金	118	1,354	△ 1,236
未収金	2,523,578	3,071,100	△ 547,522
未収消費税	0	489,932	△ 489,932
売掛金	0	0	0
商品	0	0	0
貯蔵品	1,646,883	1,726,139	△ 79,256
貸倒引当金	△ 15,135	0	△ 15,135
流動資産合計	36,131,290	48,414,128	△ 12,282,838
2　固定資産			
(1)基本財産	**100,000,000**	**100,000,000**	**0**
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産	**1,630,354,800**	**1,699,788,400**	**△ 69,433,600**
公益目的事業資産	1,628,390,000	1,694,770,000	△ 66,380,000
投資有価証券	1,198,390,000	1,244,770,000	△ 46,380,000
定期預金	430,000,000	450,000,000	△ 20,000,000
退職給与引当金預金	1,964,800	5,018,400	△ 3,053,600
(3)その他固定資産	**5,109,637**	**7,798,687**	**△ 2,689,050**
什器備品	524,834	1,588,908	△ 1,064,074
車輌運搬具	0	0	0
建物付属備品	797,028	945,038	△ 148,010
構築物	3,316,160	3,972,636	△ 656,476
機械装置	1	626,935	△ 626,934
一括償却資産	242,294	241,450	844
建設仮勘定	0	0	0
電話加入権	229,320	229,320	0
ソフトウエア	0	194,400	△ 194,400
固定資産合計	1,735,464,437	1,807,587,087	△ 72,122,650
資産合計	1,771,595,727	1,856,001,215	△ 84,405,488
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
預り金	275,386	316,316	△ 40,930
未払金	5,810,061	5,589,408	220,653
未払消費税等	1,164,900	0	1,164,900
未払法人税等	71,000	71,000	0
仮受金	1,180	13,570	△ 12,390
買掛金	0	0	0
前受金	0	0	0
賞与引当金	1,304,319	1,375,334	△ 71,015
流動負債合計	8,626,846	7,365,628	1,261,218
2　固定負債			
退職給与引当金	1,964,800	5,018,400	△ 3,053,600
長期借入金	100,000	100,000	0
固定負債合計	2,064,800	5,118,400	△ 3,053,600
負債合計	10,691,646	12,484,028	△ 1,792,382
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産	1,728,390,000	1,794,770,000	△ 66,380,000
投資有価証券	1,298,390,000	1,344,770,000	△ 46,380,000
定期預金	430,000,000	450,000,000	△ 20,000,000
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(1,628,390,000)	(1,694,770,000)	△ 66,380,000
2　一般正味財産	32,514,081	48,747,187	△ 16,233,106
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(1,964,800)	(5,018,400)	△ 3,053,600
正味財産合計	1,760,904,081	1,843,517,187	△ 82,613,106
負債及び正味財産合計	1,771,595,727	1,856,001,215	△ 84,405,488